

10人の娘

マタイ25：1－13

「そこで、天の御国は、それぞれともしびを持って花婿を迎えに出る、十人の娘にたとえることができます。

そのうちの5人は愚かで、5人は賢かった。愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を持って来ていなかった。

賢い娘たちは自分のともしびと一緒に、入れ物に油を入れて持っていた。

花婿が来るのが遅くなったので、娘たちはみな眠くなり寝入ってしまった。

ところが夜中になって、『さあ、花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。

そこで娘たちはみな起きて、自分のともしびを整えた。

愚かな娘たちは賢い娘たちに言った。『私たちのともしびが消えそうなので、あなたがたの油をわけてください。』

しかし、賢い娘たちは答えた。『いいえ、わけてあげるにはとても足りません。それより、店に行って自分の分を買ってください。』

そこで娘たちが買いに行くと、その間に花婿が来た。用意できていた娘たちは彼と一緒に婚礼の祝宴に入り、戸が閉じられた。その後で残りの娘たちも来て、『ご主人様、ご主人様、開けてください』と言った。

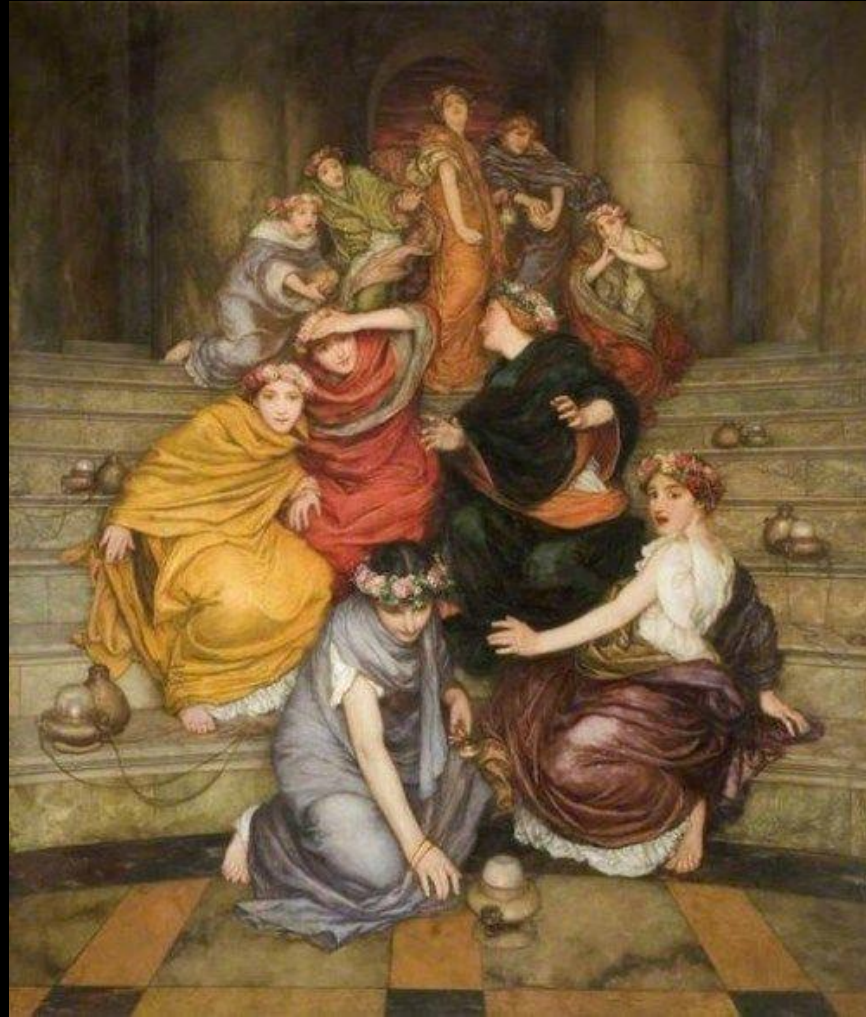
しかし、主人は答えた。『まことに、あなたがたに言います。わたしはあなたがたを知りません。』

ですから、目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。 マタイ5：1－13

花婿を迎える10人の娘たち



花婿が来るのが遅れたので 眠り始めた娘たち



油を持っていた娘たちは花婿とともに
宴会にはいると戸が閉められた。



ともし火 ⇒ 信仰 みことば イエス様

油 ⇒ 聖霊

油がなくなるとともし火は消えてしまう 

油断 ⇒ 油を断つ

10人の娘たちは外から見るとほとんど

全員同じに見えた。

全員 ともし火をもって光を灯していた。

花婿が来ることを知っていた。

全員 花婿の来るのが遅かったので眠ってしまった。

ご主人様 ご主人様と叫んだ。

信仰 一度信仰告白して終わりではなく
ともし火をともし続ける必要がある。



ともし火が消えてしまった娘たち

しかし、主人は答えた。『まことに、あなたがた
に言います。 わたしはあなたがたを知りません。』

マタイ25：12

そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのは辞めなさい。こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。

しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要なことを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

マタイ6:31-33

愚かな娘たちは何が違ったのか？

5人の娘たちは 片手にともし火を持ってはいたが、
もう片方の手に油の入れ物と油を持ち両手がふさがる
ことはしたくなかった？

油を持ち続けるとは？

イエス様 キリストとの関係

イエスが天に挙げられた後弟子たちはエルサレムにとどまって祈っていた。

五旬節

（イースター主が復活してから50日後）
弟子たちが祈っていると聖霊が下った。
弟子たちは力を受けた！

主と会話をする生活(祈りの生活)

- 聖霊様の力をいただいて、後ろから押していただいて支えていただいて前進する。

眠りこけることがあっても、主に立ち返り
神の国はあなたがたのただ中にある！と信じて歩む。
もう一度目を覚まして主を待ち望む生活！

暗証聖句

ですから、目を覚ましていなさい。
その日、その時をあなたがたは知らないのですから。

マタイ25：13